

FD委員会便り

令和元年 8月 13日発行
新潟県立大学 FD 委員会

令和元年 6月 13日に、FD委員会主催の公開授業が行われました。FDとは Faculty Development (ファカルティ ディベロップメント) の略で、教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称です。この公開授業は、教育の質向上のため、より充実した授業を追求することを目的に、教員を対象として毎年行っています。

公開授業科目：「アジア地域の交流と統合」 (1313 教室)

担当教員：袴田 茂樹教授

授業のテーマは、「ユーラシア地域とアジア諸国との関係」でした。

本授業は、国際地域学科の展開科目として歴史、政治、経済、文化などの視点から、国を超えた「アジア共同体」の実現に向けての様々な方法について、国内外の具体的な地域の事例に触れながら、問題発見や問題解決の道を探ることを目指しています。そのため、政治経済、社会文化、歴史などの各分野の専門家を招き、現東アジア地域が抱えている諸問題を多面的に分析し、それを通してアジア共同体の必要性や方向性などについての理解を深める授業にしています。



今回の公開授業は、その一貫としてロシア地域研究の専門家である袴田先生が「激動する現国際情勢をどう見ればよいのか」を問いかけながら、日本とロシアとの文化交流や経済面におけるアジア相好依存関係などを、分かりやすく易しい解説で講義を行いました。

公開授業アンケート結果の抜粋

- ・ロシア、旧ソ連を中心に、東アジアの全体を俯瞰した視点で、しっかりとしたデータ、根拠に基づいた客観的な分析によって論を展開されていた。国際関係、政治、経済のみならず、文学芸術にも言及されていた。上記のような授業を私自身も目指したいと思う。
- ・国際情勢の歴史から近年の問題まで大変勉強になりました。中国とロシアの関係についてもロシア側の立場からお話し頂き新たな発見となりました。多数の研究成果からお話ししました言葉（説明・解説）の一つ一つに強い説得力があり、研究に裏打ちされた授業の重要性を再認識しました。
- ・講義の時間をあらかじめ短くしておき、振り返りをする時間を確保しておくことは大事だと思う。実際学生に配られていた用紙の書く部分の量はかなりのものである。ただすぐに提出していった学生もいるので、そういう学生は授業の要約だけ、表面的な感想におわっていないか心配でもある。
- ・現在の社会情勢と歴史的背景について学ぶことができました。丁寧な説明がなされており、理解しやすく思いました。自分の授業でももっと丁寧な説明を心がけたいと思います。